

令和 8 年度

まちづくり懇談会実施結果報告書（明保地区）

宇都宮市総合政策部広報広聴課

令和8年度 まちづくり懇談会《明保地区》実施結果報告書

この実施結果報告書は、まちづくり懇談会《明保地区》における発言の要旨をまとめたものです。

- 1 開催日時 令和8年7月10日（金）午後6時00分～（1時間程度）
- 2 開催場所 明保地域コミュニティセンター
- 3 参加者数 29人（市出席者除く）
- 4 市出席者 市長，総合政策部長，広報官，地域まちづくり担当副参事，西市民活動センター所長，広報広聴課長
- 5 懇談内容

（1）地域代表あいさつ 明保地区明るいまちづくり協議会 会長

（2）市長あいさつ・市の取組紹介

（3）地域意見

No.	テ ー マ	所管課
1	地域資源と健康づくりや公共交通を連携させた観光開発について	観光MICE推進課，文化都市推進課 景観みどり課，健康増進課
2	乗降客が多いバス停留所の明るさ対策について	交通政策課，生活安心課

(4) 当日意見等

No.	要 望	所管課
1	防災会への支援の充実について	消防局予防課，危機管理課，保健福祉総務課
2	通学路の安全確保について	道路保全課，生活安心課
3	外国人市民に対するごみ出しルールの周知徹底について	ごみ減量課
4	社会環境の変化に対応した地域活動への支援の充実について	みんなでまちづくり課
5	自治会・生涯学習センターの後継者不足と生涯学習センターの高齢者セミナーについて	生涯学習課，みんなでまちづくり課
6	地域まちづくりの体制の充実について	みんなでまちづくり課

(5) 市長謝辞

まちづくり懇談会（明保地区）における意見及び回答の要旨

開催日時：令和8年7月10日（金）午後6時00分～

場所：明保地域コミュニティセンター

参加者数：29名

◇地域意見

No.	意見の概要	回答の概要
1	地域資源と健康づくりや公共交通を連携させた観光開発について - 明保地域には、童謡詩人である野口雨情詩碑、野口雨情旧居があり、隣接して梵天祭りが行われる羽黒神社、美しい自然が残された鶴田沼、育成牧場の広大な敷地が存在している。 - 歴史的・文化的資源と自然環境を広く地域外の方にも利用していただき、ウォーキングなど健康づくりと連携し、地域を巡る観光資源として活用することはいかがか。 - 地域資源と健康づくりや交通網を連携させた観光開発について、一体的に捉えた情報発信、トイレ・歩道整備をお願いしたい。 - また、育成牧場の将来について、再開発など危惧しているため市の介入をお願いしたいと考えている。	【市長】 - 野口雨情詩碑、野口雨情旧居、また鶴田沼等の歴史、文化的資源などを盛り込んだウォーキングマップを地区の健康づくり推進員と作成し、地域住民の健康づくり活動等において積極的に活用するとともに、まちかど情報マップを活用し、広く周知に取り組んでおり、引き続き継続していく。 - また、「野口雨情詩碑」、「野口雨情旧居」については、一般社団法人宇都宮観光コンベンション協会のホームページである「宇都宮観光ナビ」においても観光スポットとして紹介をしている。 - 野口雨情旧居については、市民を対象とした文化財めぐりにおいて訪問した様子をSNSで配信をしているほか、「宇都宮の歴史と文化財」や「うつのみや歴史・文化デジタルミュージアム」のホームページにおいても紹介し閲覧いただいている。 - 鶴田沼緑地については、市民の皆さんが身近に自然と触れ合う貴重な資源であり、自然森林として貴重なものであり保存を続けている。緑地におけるその他の散策路、また案内看板の整備に引き続き力を入れて行っていく。

		今後とも、地域資源を活用した賑わいの創出が図れるよう、地域の皆様と協力しながら、効果的な情報発信等に取り組んでいく。 (所管課：観光 MICE 推進課，文化都市推進課，健康増進課，景観みどり課)
2	乗降客が多いバス停留所の明るさ対策について - 鹿沼街道の宮環雨情橋西側にある，鶴田橋と羽黒下の（上り下り）夜間においてバス停留所及び，周辺が暗く，大変危険な状況にある。 - 乗車待ちの利用者，乗降者，学生やその他の自転車を含む通行人の安全確保，防犯及び事故防止の為に，明るさの対策が必要だと考える。 - 鶴田橋停留所は，一日を通じて乗降する人数が大変多く，また，羽黒下停留所は株式会社TKCがあり，社員及びその他の利用者も多く，特に退社時には多くの社員たちが行列をつくる状況である。 - バス事業者と協力し，バス停上屋の明るさ対策等，利用環境の整備をお願いしたい。	【市長】 - ネットワーク型コンパクトシティで公共交通を充実させ，誰もが自分の力で移動が出来るまちを作っていくためには，バスは大変重要なものであることから，今後バス路線が増加していく中，バス停を含めた環境整備は，大変重要であり，力を入れていきたいと考える。 - バス停等における利用環境整備については，補助制度を設け，市内の自治会やバス事業者などによる上屋等の整備に対する支援を行っており，バス事業者もこの制度を利用し，バス停の整備を進めている。 - また，バス停上屋の明るさの対策については，バス事業者，周辺企業等と意見交換を行いながら，整備を進めたい。 - バス停周辺の明るさ対策については，自治会が設置する防犯灯も是非ご利用いただきたい。 - 地域で防犯灯の設置を行う場合には，補助の説明等をさせていただき協力をさせていただきたい。 - バス周辺の環境整備については，明るさだけでなくまちづくりの観点からも工夫をしながら地域と一緒に進めていきたい。 (所管課：交通政策課，生活安心課)

◇当日意見等

No.	意見の概要	回答の概要
1	防災会への支援の充実について ・ 非常時に備え防災訓練を毎年行っている。年間約20万円の補助金で防災訓練を含めた備品等を網羅するのは難しい状況である。物価上昇等の影響もあり、災害時における備品の円滑な調達のために、増額をお願いしたい。 ・ また、毎年20万円の補助金を年度内に処理するのではなく、防災訓練の費用を別にし、一部を次年度に繰り越し、高価な備品を調達するような仕組みを検討いただきたい。 ・ 防災に対する取り組みを推進するリーダーが必要であり、若手リーダーの育成のためにインセンティブが必要である。 ・ また、災害時の要援護者支援制度について、当地区でも、推進しており、現在援護者約35名、携わる支援者が延べ70名以上いるが、非常時並びに平常時におけるインセンティブを考えていく必要があると考える。	【市長】 ・ これまで自主防災会の活動が充実するよう、各種事業への補助、また、防災出前講座の開催を行っている。 ・ また、クラッカーやアルファ米など物資提供に加え「自主防災会役員・リーダー研修会」や「自主防災会連絡会議」を開催している。 ・ 有事において、効果的な活動を行う事が出来るよう、若い世代をはじめとした人材育成が大切であるため、まずは若い世代に自治会へ加入していただき、防災活動に積極的に参加し、防災意識を高めていただけるよう市としても努力をしていきたい。 ・ 自主防災会活動事業補助金については、1地区10万円から20万円に増額したところであり、今後も予算を確保出来るよう取り組んでいく。若手リーダーへのインセンティブについては、「自主防災会役員・リーダー研修会」や「防災講演会」を定期的に開催するなど、防災活動で活躍できる人材の育成に取り組んでいる。また、災害時の要援護者の支援者へのインセンティブ等については、検討していきたい。 ・ 自主防災会が災害時にしっかりと対応が出来るよう、平時からの活動が大変重要であるため、毎年、総合防災訓練を実施するほか、39地区が実施する訓練への支援も行っている。 (所管課：消防局予防課、危機管理課、保健福祉総務課)

2 通学路の安全確保について ・ 雨情桜通り通学路は道幅が非常に狭く車を避けて通学している。また、車の運転中路面標示が消えて表示の確認が出来ないため危険である。 ・ 通学路の安全確保，道路環境整備，住民の安全安心にかかる重要事項であるため早急な対策，また道幅が狭いため時間帯で一方通行を含めた検討をお願いしたい。 ・ 羽黒台下の路面標示（交差点注意）について対応を依頼した際に対応まで3年かかった。 ・ 西の宮通りは，中学生の通学路となっているが，片側にしか歩道がなく，安全のため歩道を通行したいが警察に問い合わせたところ16歳以上は青切符の対象となるため（歩道の反対側は道幅が狭く危険なため）総合的な対策をお願いしたい。 ・ 6月に明保地区の環境安全点検を実施し雑草，倒木，道路標識の文字が消えているなど10件以上申請したため早急な対応をしていただきたい。	【市長】 ・ 通学路の安全確保については，学校や教育員会・道路管理者・警察等が連携した「通学路合同点検」の機会や，自治会長，地域等の意見を伺いながら，危険個所の把握や対策の検討を行っております。 ・ 該当箇所についても検討していくが，場合によっては現場を確認するため，その際は日程等を調整させていただきたい。 ・ 雨情桜通りの写真で指摘のありました路面標示が消えている箇所については，すぐに対応したい。 ・ また，片側のみの歩道，歩道がない箇所などは簡単には拡幅工事が出来ない。ご指摘いただいた注意喚起の路面標示や標識については対応していく。 ・ 道路交通法が変わり自転車のルール違反への手続きが変わったため，学校を通し中学，高校生にしっかりと認識してもらうよう引き続き周知啓発等に努めていく。 ○所管課後日対応 下記のとおり申出者へ説明し，御了承いただいた。 ・ 指摘のあった，路面標示が消えている箇所については，早めの更新を実施していく。 ・ そのほか，環境安全点検での意見・要望については，明保地区コミュニティセンターがとりまとめを行ったところであり，現在，詳細を確認中。 （所管課：道路保全課，生活安心課）
--	---

3	外国人市民に対するごみ出しルールの周知徹底について - 外国人市民の居住が多いアパートで、曜日別や分別といったゴミ出しルールが守れない。 - 明保地区の羽黒台，西の宮の各自治会も同じ課題を抱えており，この問題はすぐに解決できるとは思えないが，これまで，管理会社経由で，お願いをし，改善策を講じても効果が継続しない。 - 管理会社へ徹底してルール化を図っていただき，転入転出時に当人に伝えるなど何かルール化は出来ないか。	【市長】 - 以前から，ごみ出しのルールが守れない時は，その都度対応し，継続して行っており，それぞれの国の言語，（中国，ポルトガル・スペイン・ベトナム・タイ・ネパールなど），でチラシのポスティングを実施している。 - その他，不動産管理会社等にもお願いをするとともに，集合住宅を会社の寮としている場合は入居者の雇用主にお願いをし，効果を得ている事例もあるため，こうした対応もしていきたい。 - ルール違反のごみ出しをしている時には，すぐ対応するため連絡をいただきたい。 - また，管理会社に対して，入居者の転入転出時にごみ排出ルールの指導を徹底するよう，引き続き働きかけていく。 （所管課：ごみ減量課）
4	社会環境の変化に対応した地域活動への支援の充実について - 現在「健康づくり推進協議会」の会長を担っているが，一番の懸念は，会の推進員の高齢化と役員の担い手不足である。この状態が続くと会の継続も難しいと考える。 - 高齢化は，まちづくり団体運営，自治会活動の充実や継続に関して，顕在化している課題と考える。 - 若い世代の参加促進，会員の地域参加意識の希薄化など，様々な視点で改善策の検討が必要であるが，地域ごとの様々な課題に対応出来るよう市の更なる支援の充実をお願いしたい。	【市長】 - 若い世代の加入のために，自治会から魅力を作りだし，今頑張っている会員の負担を減らしてくという事を現在も進めているが，更に充実させていきたい。 - 周りの皆さんに声掛けをし，積極的に若い世代に加入していただき，活動を共にしていくことで，楽しいと感じていただく，あるいは楽しさを見つけていただくことになり，「皆さんを置いて辞めるわけにはいかない」ということに繋がっていくと思うので，是非皆さんと努力していきたい。 （所管課：みんなでまちづくり課）

5	自治会・生涯学習センターの後継者不足と生涯学習センターの高齢者セミナーについて - 自治会や生涯学習センターは、団塊の世代後、後継者不足により存続できないかと危惧している。 - 今後、5年10年かけて市が主体となって、今後の人材育成をしていくべきと考えており、後継者問題を打破していかないと消滅していくと思っている。 - 生涯学習センターには、高齢者向けのセミナーがほとんど無いため高齢者が足を運ぶ機会がない状況である。	【市長】 - あらゆる組織が高齢化で大変苦しんでいる。さまざまな種類の講座, セミナーを行っているが, 高齢者向けのセミナー, 講座が少ないという件については, 早速改善できるため対応していきたい。 - 人材育成について, 5年10年とあったが, 前倒しができるよう, 様々な組織が若返る, あるいは若い人が入り, 高齢者のみなさんもそれぞれの経験, 知識を生かすことが出来るような組織づくりを行っていきたい。 ○（後日対応） 下記のとおり本人へ説明し, 御了承いただいた。 - 年2回, 地域で社会教育に携わる方などを委員とした「生涯学習センター運営審議会」を開催し, 各センターにおける好事例などを共有している。今回は8月に開催予定であり, 好事例の共有に加えて, 令和9年度の生涯学習センターの事業運営の考え方なども協議する予定であるため, 地域の担い手づくりに繋がるような取組についても議論できるよう検討していく。 （所管課：生涯学習課）
---	--	--

6	地域まちづくりの体制の充実について ・ 社会環境の変化に対応しながら活動を行っており，行政からの要請も多く，限られた人材，予算等で様々な団体との調整等を行いながら，鋭意取り組んでいる。 ・ 地域まちづくりに対応する体制は十分とはいえないと考えており，市街地地域におけるまちづくり支援体制の充実を図るべきではないか。 ・ また，地域づくり活動の実情や，業務の性格を踏まえ，地域コミュニティセンター職員や地域事務員等の処遇改善への支援を充実すべきでないか。	【市長】 ・ 明保地区を管轄している西市民活動センターでは，現在4名の職員を配置している。 ・ また，市全体でも，市民活動センターに26名の職員を配置している ・ ご意見のさらなる体制の充実については，経済状況や社会状況を踏まえ対応していきたい。 (所管課：みんなでまちづくり課)
---	--	--